

令和元年度
三鷹中央防災公園・元気創造プラザ
総点検に関する報告書

三鷹市

令和2年3月

目 次

はじめに	2
1 施設利用者からの意見・要望について	3
(1) 意見・要望に関する全体集計	
(2) 総合スポーツセンターに寄せられた意見・要望の内容	
(3) 総合スポーツセンター以外の各施設に寄せられた意見・要望の内容	
2 運営関係者ヒアリングについて	8
(1) 運営関係者ヒアリング実施概要	
(2) ヒアリング内容	
3 施設利用団体事前ヒアリングについて	10
(1) 施設利用団体事前ヒアリング実施概要	
(2) ヒアリング内容	
4 ヒアリング等から得られた「総点検市民会議（仮称）で扱うべき項目」について	11
5 「総点検市民会議（仮称）」の開催に向けた提言について	12
(1) 「総点検市民会議（仮称）」開催の方向性	
(2) 「総点検市民会議（仮称）」での検討内容	
(3) 「総点検市民会議（仮称）」の開催方法	
(4) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民参加手法についての検討	

はじめに

三鷹市では、令和元年から「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」総点検に取り組んでいる。これは、平成29年4月のオープン以来、多くの市民が利用している「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」の開設3年目にあたり、施設のハード・ソフトの両面から多角的な視点で点検を行うことで、同施設をより良く活用することを目的とし、令和2年度までの2年間で実施するものである。

初年度である令和元年度では、令和2年度に開催を予定している「総点検市民会議(仮称)」に向けて、「職員参加による課題の整理」「同施設内に設置された施設の運営関係者へのヒアリング」「施設利用団体への事前ヒアリング」を行った。

職員参加による課題の整理は、3年間に寄せられた意見・要望を再集計することで、「総点検市民会議(仮称)」に向けた、現状把握の一端とすることを目的としている。この間、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団(以下、「財団」という。)が、施設利用者から日々寄せられる意見・要望の集約と回答の掲示・公表を通じて、日常的な業務改善につなげる努力をしてきているが、今回は、この蓄積されたデータを基にしつつ、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」の各施設に勤務する職員の参加により、総点検に向けた現状把握という視点から、再集計を試みた。

また、各施設の運営関係者へのヒアリングは、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」への移転後3年間の施設運営の中で生じている課題について、各職場での気づきを共有し、改善につなげることを目的として実施した。

施設利用団体への事前ヒアリングについては、「総点検市民会議(仮称)」の準備の一環に位置付け、日ごろから、幅広く活動しているスポーツ関係の3団体に向けて行った。事前ヒアリングの対象をスポーツ関係団体とした理由は、総合スポーツセンターが施設面積の6割を占め最大であること、年間利用者数でも全体の6割を総合スポーツセンターの利用者が占め最多であること、また、3年間に寄せられた意見・要望数でも総合スポーツセンター関連が全体の67%を占め最多であること、による。

本報告書作成にあたっては、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 教授／立教大学社会デザイン研究所 所長の中村陽一氏から、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」の現状を踏まえつつ「総点検市民会議(仮称)」開催に向けた論点整理へのアドバイスをいただいた。

なお、本報告書をまとめるにあたり、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、従来型の大勢の人が集まって開催するワークショップや研修会のような手法を取ることが難しくなることを想定し、報告書の巻末に、当初予定していなかった、市民参加手法についての提言を付記することとした。

1 施設利用者からの意見・要望について

三鷹市と財団では、平成 29 年 4 月のオープン以降、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」の施設利用者から意見・要望を収集してきた。財団では、意見・要望への回答の作成と公表を継続的に実施するとともに、日常的な業務改善に反映している。この経常的な業務によって蓄積されたデータを基にしつつ、総点検に向けた課題整理という視点で、平成 29 年 4 月から令和元年 8 月末までの 1645 件の意見・要望について、分類と集計を行った。また、本報告書をまとめるにあたり、上記の分類に則して令和元年 9 月から令和 2 年 3 月までの情報を追加し、1847 件について再集計を行った。3 年間に寄せられた意見・要望の全体像を把握することで、令和 2 年度に開催を予定している「総点検市民会議（仮称）」に向けた課題を整理する。

(1) 意見・要望に関する全体集計

平成 29 年 4 月から令和 2 年 3 月までの施設利用者から寄せられた意見・要望について、年度ごと、施設ごとの件数については表 1 のとおりである。大まかな分類として、全体 1847 件のうち、約 3 分の 2 が総合スポーツセンターへの意見・要望、約 4 分の 1 が「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」全体への意見・要望である。

総合スポーツセンターへの意見・要望の多さは、待望の施設であり注目度が高いことに加えて、施設規模が最も大きいこと、施設利用者数も全体の 6 割を占めることなども理由の 1 つと考えられる（表 2 参照）。

◆表 1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザへの意見・要望

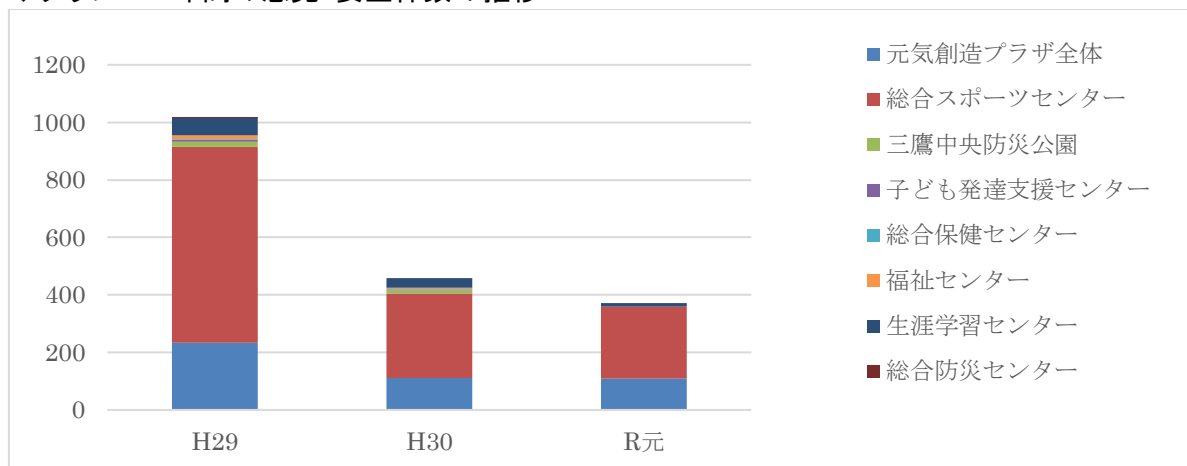
	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		合計	
元気創造プラザ全体への意見・要望	234 件	23.0%	112 件	24.4%	109 件	29.4%	455 件	24.6%
総合スポーツセンターへの意見・要望	681 件	67.0%	293 件	63.8%	249 件	67.1%	1223 件	66.2%
生涯学習センターへの意見・要望	62 件	6.1%	34 件	7.4%	10 件	2.7%	106 件	5.7%
子ども発達支援センターへの意見・要望	6 件	0.6%	3 件	0.7%	2 件	0.5%	11 件	0.6%
総合保健センターへの意見・要望	2 件	0.2%	2 件	0.4%	0 件	0.0%	4 件	0.2%
福祉センターへの意見・要望	13 件	1.3%	5 件	1.1%	0 件	0.0%	18 件	1.0%
総合防災センターへの意見・要望	1 件	0.1%	0 件	0.0%	0 件	0.0%	1 件	0.1%
防災公園への意見・要望	18 件	1.7%	10 件	2.2%	1 件	0.3%	29 件	1.6%
合計	1017 件	100.0%	459 件	100.0%	371 件	100.0%	1847 件	100.0%

◆表 2 3 年間の利用者数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合計	%
総合スポーツセンター	387,553 人	506,064 人	505,258 人	1,398,875 人	61.2%
（プール）	（131,718 人）	（157,907 人）	（155,159 人）	（444,784 人）	（19.4%）
生涯学習センター	73,376 人	74,612 人	69,692 人	217,680 人	9.5%
その他の 5 施設	175,127 人	179,026 人	151,919 人	506,072 人	22.1%
イベント	82,550 人	56,560 人	25,404 人	164,514 人	7.2%
合計	718,606 人	816,262 人	752,273 人	2,287,141 人	100.0%

また、3年間の意見・要望件数の推移(グラフ1)を見ると、開館初年度の平成 29 年度の件数が 1017 件で、全体の 55%を占めており、開館2年目以降は、平成 30 年度 459 件 (24.9%)、令和元年度 371 件 (20.1%)と、ほぼ横ばいの状況となっている。

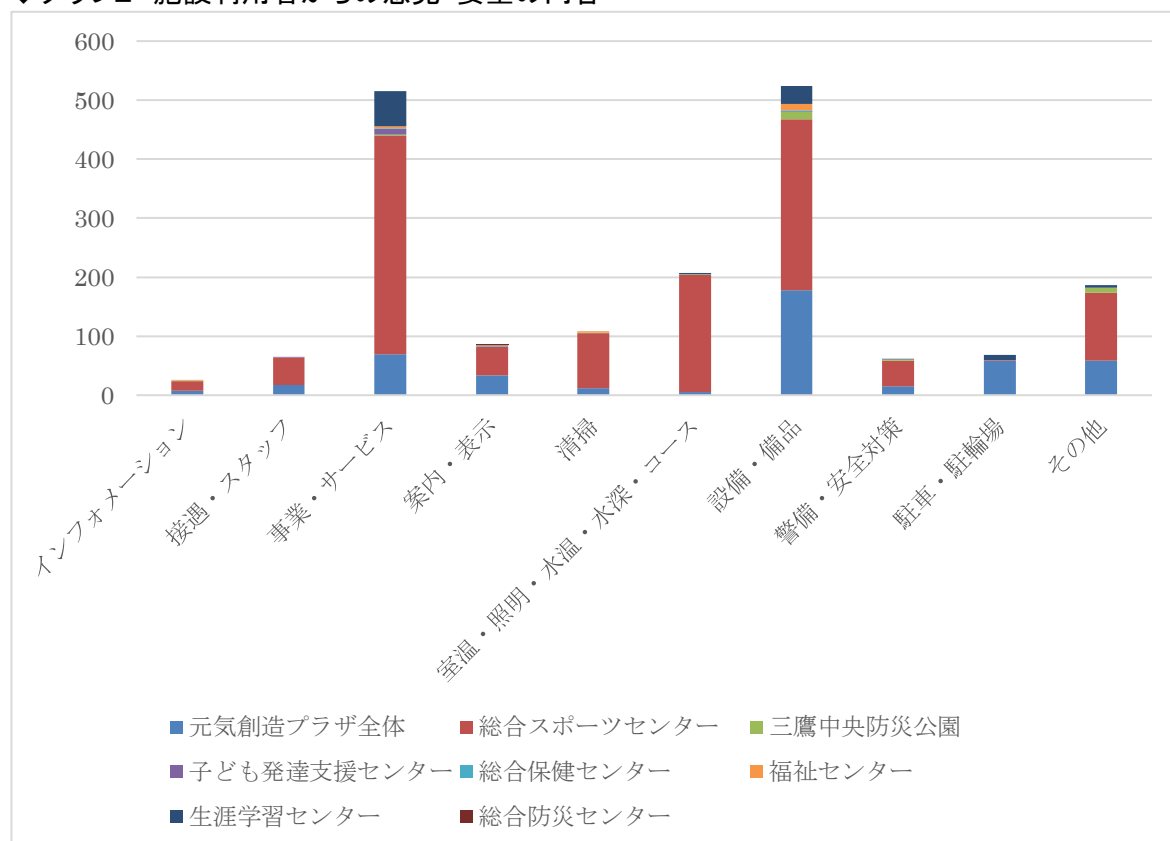
◆グラフ1 3年間の意見・要望件数の推移



施設利用者からの意見・要望を集約してきた財団では、意見箱への投稿やメール等で受け取った内容について、下図のとおり分類を行うとともに、掲示板等で回答を公表してきた。

「事業・サービス」に対する内容と、「設備・備品」に対する内容が突出して多いことがわかる(グラフ2参照)。

◆グラフ2 施設利用者からの意見・要望の内容



(2) 総合スポーツセンターに寄せられた意見・要望の内容

総合スポーツセンターへは 1223 件の意見・要望があり、全体の半数以上を占める。そのため、プールに対する意見・要望 680 件 (55.6%) と、プール以外の諸施設・機能に対する意見・要望 543 件 (44.4%) に分け、さらに分析を試みた。

① プールに対する意見・要望

総合スポーツセンターへの意見・要望のうち、55.6%にあたる 680 件がプールに対する意見・要望である。件数が多いため、内容について再分類して集計した結果は表3のとおり。

全体として、「プールの使い方」や「ルール」に関する意見・要望が多い。特に、オープン直後には、施設利用者と運営スタッフの双方に利用に関するルールが共有・定着していなかったこともあり、多くの意見・要望が寄せられた。

◆表3 総合スポーツセンタープールへの意見・要望

プールへの意見・要望	680 件	
レーンの使い方について	142 件	20.9%
衛生面に課題がある	101 件	14.8%
〇〇が欲しい(時計・ドライヤーなど)	99 件	14.6%
水温高い	42 件	6.2%
金額・両替等	41 件	6.0%
水深(深い・浅い)	31 件	4.6%
職員の対応に課題がある	29 件	4.3%
利用者のマナーが悪い	23 件	3.4%
プールサイドが滑る	20 件	2.9%
音楽(音量・曲目)	19 件	2.8%
気温(暑い・寒い)	15 件	2.2%
案内・スケジュール表示がわかりにくい	13 件	1.9%
その他・問い合わせ等	84 件	12.3%
お礼など	21 件	3.1%

具体的な意見・要望について、主なものは次のとおり。

《レーンの使い方について》

- 団体利用と個人利用、スポーツ教室のレーンの割り振りについて
- プールでの泳ぎ方・歩き方のルールについて
- プール利用者のマナーについて

《衛生面に課題がある》

- プールや更衣室の清掃について(床が濡れている、髪の毛が落ちているなど)

《〇〇が欲しい》

- 時計・ドライヤーの設置・増設について
- 体重計、血圧計、すのこ、マットなどの設置について

《金額・両替等》

- 両替機の複数台設置について
- 1時間券の設定について(平成 30 年度対応済)

② プール以外の諸施設に対する意見・要望

総合スポーツセンターへの意見・要望のうち、プール以外の諸施設への意見・要望は 543 件(44.4%)である。内訳については表4のとおり。

◆表4 総合スポーツセンタープール以外の諸施設・機能への意見・要望

プール以外の諸施設・機能への意見・要望	543 件	
トレーニング室・ランニング走路について	148 件	27.3%
スポーツ教室について	104 件	19.1%
アリーナについて	65 件	12.0%
更衣室について	64 件	11.8%
運動施設全般について	53 件	9.8%
利用料金について	30 件	5.5%
武道場、小体育室、軽体操室、多目的体育室、体育室について	29 件	5.3%
種目別開放事業について	16 件	2.9%
その他	34 件	6.3%

それぞれの施設への意見・要望について、主なものは次のとおり。

《トレーニング室・ランニング走路》

- 利用のルールや利用者のマナーについて
- トレーニング室の機器や備品、Wi-Fi 設置について
- 利用時間や年齢制限について

《スポーツ教室》

- スポーツ教室やワンコインレッスンの内容や曜日・時間について
- スポーツ教室の申込方法等について
- スポーツ教室参加者のマナーについて

《利用料金》

- 1時間券の設定について(平成 30 年度対応済)
- 利用料金や回数券について

《その他》

- アリーナでの個人開放の種目や時間について
- 更衣室の清掃等について

(3) 総合スポーツセンター以外の各施設に寄せられた意見・要望の内容

総合スポーツセンター以外の各施設に対して寄せられた意見・要望は次のとおり。

① 元気創造プラザ全体への意見・要望

複合施設である「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」全体に対する意見・要望であるため様々な内容が含まれるが、中でも「休憩コーナー」「駐車場・駐輪場」「喫煙所」についての意見が多い。また、案内表示やホームページ、授乳室、トイレ、Wi-Fi 設置への意見・要望も含まれる。

《休憩コーナー》

- 休憩コーナーの自販機の商品について(飲み物の種類、アイスクリームを希望する等)
- 休憩コーナー自販機の商品価格について
- カフェやコンビニエンスストア設置について
- 休憩コーナーの清掃について

- 休憩コーナー利用者のマナーについて
- 《駐車場・駐輪場》
 - 駐輪場増設について
 - 屋内駐輪場ラック等の使い勝手が悪いことについて
 - バイク置き場増設について
 - 駐車場増設について
 - 駐車料金や駐車券の時間枠等について
- 《喫煙所》
 - (平成 30 年度まで設置していた)南側喫煙所について
- 《案内表示等》
 - 案内表示がわかりにくいことについて
 - ホームページが見つらいことについて
 - 券売機が使いつらいことについて
- 《授乳室》
 - 空調機の設置について
- 《トイレ》
 - 清掃について
- 《その他》
 - Wi-Fi 設置について

② 各施設への意見・要望

- 《生涯学習センター》
 - 学習室等の個人利用について
 - 部屋の使い勝手や設備・備品について
 - キャンセル料や駐車料金について
 - 利用区分について
- 《子ども発達支援センター》
 - 子どもひろば・一時保育について
- 《総合保健センター》
 - 授乳室について
- 《福祉センター》
 - 案内・表示のわかりにくさについて
 - 浴室について
 - 施設の利用方法について
- 《総合防災センター》
 - 案内表示について
- 《三鷹中央防災公園》
 - 公園利用者のマナーについて
 - 公園の樹木について
 - 公園の遊具等について

2 運営関係者ヒアリングについて

令和2年度に開催を予定している「総点検市民会議(仮称)」に向けて、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」内に設置された各施設を運営する関係者のヒアリング調査を行った。

(1) 運営関係者ヒアリング実施概要

2月12日 水曜日	9時～10時	財団 総務担当 施設管理受託事業者
	10時～11時	スポーツと文化部 生涯学習課 財団 生涯学習センター担当
	11時～12時	財団 総合スポーツセンター担当
	13時～14時	健康福祉部 健康推進課(総合保健センター)
	14時～15時	子ども政策部 子ども発達支援課(子ども発達支援センター)
	15時30分 ～16時30分	都市整備部 緑と公園課 花と緑のまち三鷹創造協会
2月13日 木曜日	11時～12時	総務部 安全安心課
	14時～15時	総務部 防災課
	15時～16時	スポーツと文化部 スポーツ推進課
	16時～17時	三鷹市社会福祉協議会(福祉センター)

(2) ヒアリング内容

① 施設・設備面での課題

ア) 全館共通の課題・共有部分に関する課題

- 共有スペースの拡充・休憩スペースの見直し:スペースの拡充、乳幼児対応など
- 公園の遊具の見直し:対象年齢の再検討など
- デジタルサイネージの見直し:普段は自動、人が来たら選択可能に、など
- 案内の見直し:会議室の表示が分かりにくい、各階の担当者が案内を求められ業務が中断される、など
- 駐輪場、駐車場の見直し:増設、障がい者対応、駐車場料金の減免の統一など
- 収納の見直しと増設:団体用具置き場(倉庫、ロッカー)、収納の見直しなど
- バックヤード環境の見直し:空調、コンセントなど
- 予約システムの改良
- その他備品の増設や新設:券売機の増設(電子マネー対応含む)、防犯カメラ(顧客トラブルへの夜間対応など)とWi-Fiの新設

イ) 設備面での課題

- 床材の見直し:フロア、トイレ、ウッドデッキなど
- 排水の見直し:屋外、プール更衣室など
- 照明の増設:東モール、駐輪場、外灯など
- 空調の見直し:個別の空調機ごとの調整、授乳室の空調新設など

ウ) フloor別の課題

- 子ども発達支援センター:くるみ幼児園の設備の見直し(入口の照明、空調の調整、保護者の居場所づくり、ベビーカー置き場の防犯対策 等)、更衣室の見直し、一時保育室のトイレの見直しなど

- 福祉センター:ゴルフ場の見直し(特定の方の利用に限定されている、ボール落下の危険性が高い 等)
- 生涯学習センター:ホール及びステージの改良(車いす対応、舞台袖の増設など、防音 等)、学習室の改良(出入口の追加、照明の改善など)
- 総合スポーツセンター:倉庫の使い方、サブアリーナ観覧席、プール観覧席の子ども対応、救護室の設置など

② 運営面での課題

ア) 設置条例の改正が必要な課題について

- 休館日の調整:財団の指定管理施設と他施設との休館日が異なる点
- 生涯学習センター利用時間区分の見直し
- 総合スポーツセンターの入れ替え時間の設定

イ) 受付・情報提供に関する課題

- 受付に関する苦情への対応:1 階受付へ問い合わせが集中することへの対応、職員研修やコンシェルジュサービスへの取り組みなど
- 情報発信の充実:入口付近での情報発信、他施設での情報発信など

ウ) 施設利用方法に関する課題

- スポーツ施設の個人利用と団体利用、スポーツ教室枠の比率に関する検討
- 会議室の運用ルール of 明確化:各階での共有
- モールの更なる利活用:現在はガーデニングフェスタ、農業祭などに利用
- 施設利用用途の拡大:生涯学習センターの部屋の保護者会会場としての提供など

エ) 各施設の連携に関する課題

- 防災対応、救護体制への見直しと周知:人員体制、避難に必要となる鍵の管理方法の見直し、救護ルールの明確化と周知など
- 他センターとの連携、施設としての一体感の醸成:上階への集客の仕組みづくり、全館でのお祭り実施など

オ) 施設利用者に関する課題

- スポーツ利用者のマナーの徹底:掃除、備品管理など
- 施設内の廊下が長期休暇中などに子どもの遊び場化している問題

③ その他

- 利用者満足度の測定に関する提案
- スポーツ施設の年齢別・性別利用者の統計データの作成と分析に関する提案
- 類似他施設の見学等に関する提案
- 団体と個人のバランスの見直しに関する提案(三鷹方式)

3 施設利用団体事前ヒアリングについて

施設を利用する市民団体についても、ヒアリングを行った。令和元年度は、施設面積が最も広く、また、市民意見集約の中でも意見の大半を占めた総合スポーツセンターを主に利用しているスポーツ関係団体に対して、「総点検市民会議(仮称)」に向けた事前ヒアリングにご協力いただいた。

(1) 施設利用団体事前ヒアリング実施概要

2月26日(水)13時30分～15時30分	三鷹市ベッセルスポーツクラブ会長
2月27日(木)14時～15時	三鷹市体育協会会長・事務局長
3月4日(水)18時～19時30分	三鷹市スポーツ推進委員協議会会長・副会長・役員

(2) ヒアリング内容

① 施設利用に関する課題

ア) 倉庫・ロッカーの使い勝手について

- 毎回、バスケットゴールを動かさないとその他の備品の出し入れができない
- バスケットゴールは重くて大きく、動かすのがたいへんで危険
- 毎回使う大きな荷物なども全て持ち帰らなければならない
- 高齢者への配慮も必要

イ) 空調について

- 冷暖房が適切に行われていないと感じる
- 利用者による温度調整を可能にできないか

ウ) プール、シャワールームの改善について

- 水はけの悪さ、床の滑りやすさの改善、手すりの設置等

エ) 施設内の案内表示について

- 案内板が少ないため、場所が分かりにくい
- エントランスからの案内が分かりにくい

オ) その他

- 両替機の各フロアへの設置
- 下駄箱やロッカーなどのカギの統一

② 運営面での課題

ア) マネジメント体制の整備

総合スポーツセンターについては、市(全体の責任者)、財団(施設運営の責任者)、セントラル・スポーツ(事業運営)と利用者という関係性の中で、それぞれの役割分担が不明確なので、マネジメント体制の再検討と明確化が必要。

イ) ルールの統一について(備品の設置など)

市民と職員の間でルールを共有し、現場で判断できるようにすることが重要

ウ) 受付対応について

特に総合受付では温かい対応への期待や、コンシェルジュとしての機能が望まれる。

エ) 自主グループ活動としての市民参加の継承について

市民が運営に関わる形式の「三鷹方式」での伝統継承

③ その他

ア) 目標達成状況に関する具体的な情報提供について

市が定めた目的の達成状況や、利用者数の増加、行政予算の増減など、具体的な状況に関する市民との共有

イ) 非(未)利用者に対する対応と情報発信の必要性について

施設を既に利用している市民だけではなく、何らかの理由で施設を利用していない市民からの意見聴取も行うべき。今後、市民への十分な広報、情報発信が必要

ウ) 参考事例の視察に関する提案について

- 武蔵野総合体育館
- エスフォルタアリーナ八王子
- ICU の体育館
- 府中市白糸台体育館

4 ヒアリング等から得られた「総点検市民会議(仮称)」で扱うべき項目について

過去3年間に収集した「施設利用者からの意見・要望」の分析と、「運営関係者ヒアリング」「施設利用団体事前ヒアリング」での聞き取りを受けて集約した、「総点検市民会議(仮称)」で扱うことが想定される項目は以下のとおり。

(1) スポーツ施設

① 倉庫・備品の管理について

- 倉庫内の備品の収納方法やスペースの使い方について
- 各スポーツ団体所有の備品等を置く場所の確保について
- スポーツ施設や倉庫の使い方のルールとマナー(道具の片付け、清掃)について

② スポーツ施設の利用方法・時間枠

- スポーツ施設の団体利用と個人利用の割合について
- スポーツ施設の利用時間枠設定のあり方について
- 三鷹方式でのスポーツのあり方とそれに基づくスポーツ教室等のあり方について

③ スポーツ施設の管理について

- 休館日の施設管理について
- 地下2階更衣室の管理について

(2) 共有スペース

① 共有スペースの活用について

- 全館で共有するスペースの利用方法について
- 交流の場の設置について
- カフェや休憩スペースの設置について
- 1階エレベーターホールの使い方について
- 駐輪場の増設や利用のしやすさについて

② 物販について

- 飲食物の販売について
- スポーツグッズ販売コーナーの設置について
- 自販機の種類や弁当の販売等について

(3) 災害対応

- 防災時の対応について
- 市民への事前周知を含めた大規模災害発生時の施設の活用について

(4) その他

- 電子申請への取り組み(利用申請書等)について
- ボランティアポイントについて
- 情報発信や広報のあり方について
- スポーツを通じた健康増進策について
- 市民が支える複合施設としての可能性について
- 三鷹市、財団、スポーツ事業者の役割分担、窓口のワンストップ化の推進について
- 総合スポーツセンター、生涯学習センターと他の施設との連携について

5 「総点検市民会議（仮称）」の開催に向けた提言について

本報告書のまとめにあたり、助言者である中村陽一氏(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 教授／立教大学社会デザイン研究所 所長)から、「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」の現状を踏まえつつ、令和2年度に開催予定の「総点検市民会議(仮称)」に向けたアドバイスをいただいた。

(1) 「総点検市民会議(仮称)」開催の方向性

① 「自分たちの施設」という意識を醸成するための取り組み

「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」は、複合的で規模の大きなポテンシャルの高い施設である。施設の特性を最大限に生かしていくために、総点検を通じて、「自分たちの施設」であるという意識を施設利用者の中に醸成するため、施設のコンセプトやアイデンティティを明確にし、施設利用者と共有して行くことが重要。

② 複合施設のあり方に新たな意味を付加するための論点

- 複合施設の他の機能との連携強化など、「複合施設」としてのアイデンティティを創出するためのパラダイムシフト
- サードプレイス・居場所としての「元気創造プラザ」のあり方
- 子どもやシニアだけではなく学生や文化芸術に関わる人など、多世代型・多分野型のコミュニティ創出
- 遊び心をくすぐる施設のあり方・運営方法の工夫

(2) 「総点検市民会議(仮称)」での検討内容

「総点検市民会議(仮称)」では、以下のようなテーマを検討することが必要と考える。

- 複合施設としてのあり方、各フロアの連携のあり方と、それに基づく運用について
- サードプレイス・居場所としての施設のあり方と運営について
- 公共施設運営に対する自主グループなどの積極的な市民参加と、市民の活動を活かした運営手法等について
- 三鷹市ならではのスポーツのあり方と、それに基づく施設利用のあり方について
- 共有スペース・交流スペースのあり方と、それに基づく望ましい設備のあり方について

(3) 「総点検市民会議(仮称)」の開催方法

より多くの人が誰でも参加できる仕組みをつくるために、下記の例示のような多様な話し合いの場を設定することが有効ではないか

- 施設のコンセプトや愛称名などを検討する 100 人前後のワークショップ
- 施設をあまり利用したことのない人からヘビーユーザーまでが参加できる様々な分科会
- 市や財団の担当者を中心とした戦略チームによる施設マネジメントに関する検討会
- 10 代の若者の意見を聞く場、大人と子どもが話し合う会議

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民参加手法についての検討

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度に開催を予定している「総点検市民会議(仮称)」についても、従来型の大勢の人が集まって開催するワークショップや研修会のような手法を取ることが難しくなることが想定される。このことを踏まえた市民参加手法について、本報告書に付記することとした。

① 感染症対策に配慮した市民参加手法について

「総点検市民会議(仮称)」では、当初、少人数での分科会と 100～200 人程度の大人数でのワークショップを平行して実施するなど、多くの市民が直接顔を合わせて情報を共有し、議論を重ねる手法を想定していた。

しかし、新型コロナウイルス感染症への対応が必要となる中で、100 人規模での会議の開催や、長時間にわたるワークショップ等の開催手法そのものが課題となり、どのようなタイミングで開催が可能となるか想定がし難い状況となった。

そのため、新型コロナウイルス感染症の状況いかに関わらず開催可能なオンラインでのワークショップや、少人数ごとでのヒアリング、アンケート用紙での意見収集などの代替手法も検討する必要があると考える。常に新しい市民参加手法にチャレンジしてきた三鷹市であれば、敢えて、オンラインでの市民参加に関する三鷹方式のあり方を検討・検証する、ということもあり得るのではないかと考える。そうした新しい手法をサポートしうるツールも種々開発されており、実用的なものも増えている。

② 具体的な市民参加手法案

感染症対策に配慮した市民参加としては、具体的には、以下のような手法を組み合わせることが想定される。なお、オンラインワークショップの実施に当たっては、大人数でのオンラインワークショップを得意とするファシリテーターやデジタルコミュニケーションに精通した専門家の協力を仰ぎ、会議設計やシステム選定などに関するアドバイスや、実際の会議のファシリテート依頼を想定する。

- オンラインワークショップによるディスカッション
- 郵送、メール、フォームなどによる意見募集
- チャットシステムなどによる意見交換

令和元年度
三鷹中央防災公園・元気創造プラザ
総点検に関する報告書

令和2年3月

三鷹市
特定非営利活動法人三鷹ネットワーク大学推進機構
株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ